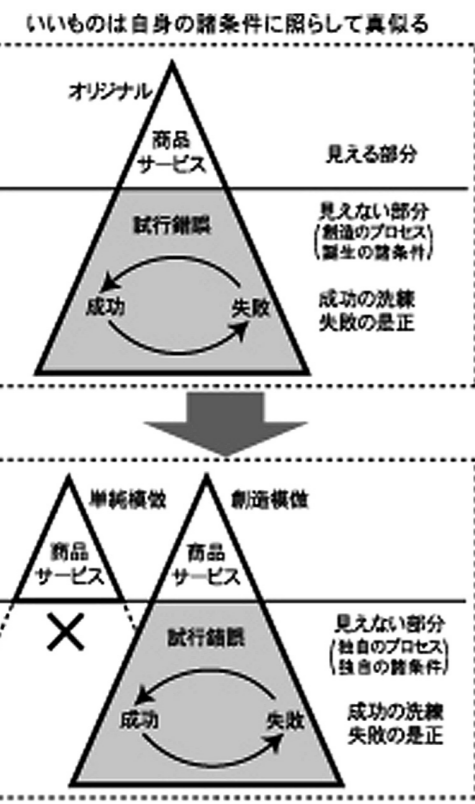


# 本社テーマ シリーズ3 観光立国実現は地方から推進を



見えない部分(無数のプロセス) 成功の洗練 失敗の是正

## 地域の住民パワー活用がかぎの1つ

温泉などに恵まれ、多くてしまう。そうした観光の観光客が集まる土地で、観光立国を促すために、観光資源として、公平感が損なわれる懸念も否定できない。

魅力とは何か。辞書的に「人を惹きつけるもの」と解釈される。魅力を観光に置き換えた場合、極めて直截に表現する、観光客が「行ってみたい」と思う動機づけに「不易変遷」がある。

魅力とは何か。辞書的に「人を惹きつけるもの」と解釈される。魅力を観光に置き換えた場合、極めて直截に表現する、観光客が「行ってみたい」と思う動機づけに「不易変遷」がある。



魅力とは捉えどころの流意識を感じていた高化し、呼び方も三種の神器から製品頭文字をとって誰かが魅力を感じてきた社会が求められ、やがて「癒し」が消費活動のキーワード化してきた。

試行錯誤が魅力生む 観光客側との新たな関係形成

観光誘引の原動力である魅力が、需要者である観光客の側で変容をきたし始めた。観光客が「行ってみたい」と思う動機づけに「不易変遷」がある。

観光客側との新たな関係形成

観光客側との新たな関係形成

観光客側との新たな関係形成

観光客側との新たな関係形成

# 観光経済新聞の「地域経済を拡大させる方程式」

## 観光産業+地域内産業+住民=観光交流の拡大



観光資源とは、景勝地や名所旧跡だけではなく、いま、求められているのは、ありのままの日常から得られる共感や感動です。あるいは、日常の衣食住の生産プロセスを自ら確信し、安心することです。